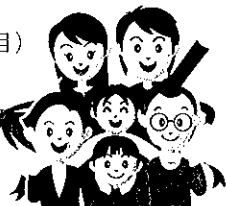


100歳バンザイ!!

金守 ハル 様 (木屋町3丁目)

矢野 ナツエ 様 (御幸2丁目)

松原 始 様 (姫原2丁目)

おめでとう
ございます

地域包括支援センターとは 身近な相談窓口です

- ◇高齢者の方が、住みなれた環境の中で暮らし続けるための総合相談窓口です。
- ◇健康、医療、介護などなんでもご相談ください。
- ◇相談内容に関しては秘密を堅くまもります。
- ◇相談は無料です。お電話頂きましたら、自宅訪問も致します。

名 称 松山市地域包括支援センター味酒・清水
住 所 松山市清水町3-15 清水小学校北校舎1階
受付日時 月～土(8時30分～17時15分)
電 話 (089) 911-1135
休 日 日、祝祭日、12月30日～1月3日

赤い羽根共同募金のお願い

令和3年度・清水地区赤い羽根共同募金目標額

2,836,000円

令和3年度
清水地区社会福祉協議会賛助金として
清水地区町内会連合会様より
頂きました。
1世帯
@100×5,700=570,000円

令和3年度清水地区社会福祉協議会活動資金は、2,310,000円です。

令和3年度第1回理事会・評議員会(書面決議)により、今年度の予算が決まりました。

収入の主なもの

地区社協賛助金 **570,000円**
(1世帯100円×5,700)
社協活動助成金 **740,000円**
(赤い羽根共同募金配分金)
福祉学習事業助成金 90,000円
共同募金推進費 70,000円

支出の主なもの

福祉活動費 **970,000円**
(内訳は下記)
福祉活動事業費 90,000円
共同募金推進費 80,000円

福祉活動費内訳	敬老会への助成(14分館)	300,000円	協会員・独居みまもり員福祉活動費	222,000円
	高齢クラブ助成(4団体)	100,000円	トーンチャイムボランティア活動助成	18,000円
	独居高齢者助成(340名)	170,000円	女性団体助成(2団体)	14,000円
	身障者援護活動助成	20,000円	自主防災連合会助成	14,000円
	児童クラブ(2団体)子供会(6団体)	82,000円	地域活性化事業助成	30,000円

福祉活動費は、各地域・団体への活動費助成として使用されています。
清水地区社会福祉協議会の活動資金は、各戸からの賛助金と、赤い羽根共同募金からの配分金です。
今年度も皆さまからのご協力をよろしくお願い申し上げます。

福祉講座開催のお知らせ

参加
無料

日 時 11月12日(金) 14:00～15:00

場 所 いきがい交流センターしみず2F

演 題 『もてなしの心』

講 師 元清水小学校校長

ロシア兵墓地保存会会長 菅田 顕 様

申込先 清水地区社会福祉協議会事務局
TEL 916-9179

申込〆切
11月1日

啓発調査部長
稲見 敦子

失われて分る当り前の暮らしの大切さ。謙虚な気持ちを持ちたいと思います。

実りの秋、例年なら楽しい運動会やお祭りと活気のあふれる季節のはずです。長引くコロナ禍の中、努力と工夫をしてウイズコロナ・アフターコロナへの対応をしている学校の活動をご紹介します。また、ふれあい教室は、二号に分けて取上げました。長期のお休みで会員も減ってきています。再開したら以前のよう楽しい教室、地域コミュニティの場になつて欲しいと願っています。

編集後記

第65号



しみずの福祉だより

清水の現状(令和3年9月1日現在)

人 口	22,648人
65歳以上	5,815人
高齢化率	25.7%
世帯数	13,310世帯
一世帯平均	1.7人

(住民基本台帳による)

清水地区社会福祉協議会
編集・発行 会長 横山 定雄

コロナ禍の中、いま学校は...

コロナ禍においても欠かせない対面(見守り)

清水小学校

登下校時の交通量が極めて多い清水小学校区。8月17日の南海放送テレビ「大好き松山～フレイル予防で健康寿命を延ばそう～」で、清水小学校の登校を見守る「見守り隊」の方の姿が取り上げられました。松山市保健福祉政策課企画の当番組において、「フレイル予防のために、ボランティア活動等の社会活動を通して気持ちを明るくすることが有効である。感染対策を講じた上で地域の子どもの関わりを積極的に」との論点で画像は取り上げられていました。子どもの教育的価値という視点で見れば、雨にも負けず風にも負けず、登校の見守りを続けるご高齢の見守り隊員の温かいまなざしを受けながら、毎朝登校している清水っ子。1日の始まり(実際は下校時)において、よきモデルに毎日出会い、優しさ・粘り強さ・たくましさに触れる6年間に、確かな学びがあるはずです。交通安全の視点からも、コロナ禍の中でも、なくなると非常に困る価値ある対面です。

また、8月10日に行った通学路合同点検には、地域の交通安全のリーダー的存在の方々、多数ご同席いただきました(社会福祉協議会からは横山定雄様ご同席)。大変ありがとうございました。



姫山小学校

コロナ禍での水泳大会



昨年度に引き続き、松山市総体(水泳の部)の参加が中止となり、今年度は、各学校で水泳記録会を実施することになりました。本校でも、7月20日に、25mと50mの平泳ぎ・クロールの計4種目に、児童34名が参加して記録会を行いました。各校での開催となっても感染症対策は欠かさず、予備整列まではマスクを着用しました。また、本番さながらに、開閉会式を行い、教職員も出発合図や監察、記録等の役割を担当しました。少ない練習時間でしたが、全員が自分の種目を泳ぎ切ることができ、観客席の友達や教職員から、力一杯の応援の拍手が鳴り響いていました。コロナ禍において形を変えた水泳記録会でしたが、「もう一回泳ぎたい!」という意欲が高まった中で、幕を閉じました。

今、学校では、児童も教職員も多くの制約の中で生活を送っています。本校では、この水泳記録会のような「今できる最善の教育活動」に向けて最大限の知恵と工夫を出し合い、子どもたちの学びを保障しています。今後とも、子どもたちの健全育成にご理解とご協力をお願いいたします。

新しい学校教育活動

勝山中学校

先行き不透明なコロナ禍において、これまでの学校教育活動が見直されています。また、今年度から、【GIGAスクール構想】《一人一台端末(タブレット)と高速大容量通信ネットワークを一体的に整備し、児童生徒のICT教育を推進する施策》が、本格的に実施されました。そのような中、勝山中学校でも一人一台端末が生徒全員に配布され、タブレットを活用した授業が実施されています。

- 古文の音読を録音し、あとで何度も聞き直した。
- 音楽のリコーダー演奏を録音し、先生に提出した。
- 班で決めた事柄をインターネットで調べ、みんなでまとめた。

以前なら、黒板に書かれた内容をノートに鉛筆やペンで書いていたことが、今では指先で書けたり、リコーダー演奏を一人一人順番に聴いていたことが、録音機能で教員に直接提出できたり、考えた内容がタブレットを通して他者に瞬時に送られ、話し合いながら考えを深めたりするなど、現在の科学技術が「新しい普通」として学校教育に取り込まれています。

新型コロナウイルス感染症は、未知なる困難なものです。そんな今だからこそ、新しい柔軟な価値観や発想で、前例のない学習活動に挑戦できるチャンスでもあります。

教職員も今年度になってICT研修を5回実施し、授業の中での有効活用を研修しています。ICTを活用したよりよい生き方を旨とし、地域社会に貢献できる、そんな勝中生になって欲しいと思います。



